

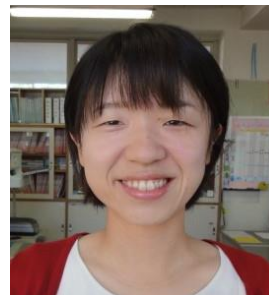
しまだ さいこうさん
島田 彩恵子さん

JICA 海外協力隊 2019 年度 1 次隊

派遣国：ネパール 職種：青少年活動

2021 年 11 月 14 日（日）中国新聞 SELECT 掲載

※中国新聞社の許諾を得ています



一から授業づくりに奮闘

「人として成長したい。でも、どうせやるなら誰かのために」。そう思い、JICA 海外協力隊への参加を決意した。

2019 年 7 月から 8 カ月間、ネパールのブンコットという村の唯一の公立学校に青少年活動隊員として赴任した。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、20 年 3 月に帰国を余儀なくされたが、ネパールで過ごした 8 カ月間は人生で大切な時間になった。



毎日授業があった 4、5 歳クラス。

母の日にお母さんの絵を描いた

赴任先の学校は、3 歳から 18 歳までの子どもたちが通っていた。私は 3 歳、4 歳と 5 歳、中 1～中 3、18 歳の 6 クラスの授業を受け持つことになった。指導したことのない年齢であることや、授業内容が 100 パーセント私に委ねられていること、また文化や教育制度が異なることは、私を大変悩ませた。

しかし、困難な状況でも挑戦し努力し続けたり、周りを巻き込んで話し合ったり、自分の思いを伝え続けたりすると、子どもたちも先生方も少し変化したように感じる。また、どんな場所に行ってもあいさつやお礼を言えること、思いやりをもって接することなど、人間性が大切だと強く感じた。言葉や文化が違ってても人と人の関わりであることは変わらないと思った。

現在、下関市の中学校に英語教諭として勤務している。英語や道德の授業でネパールでの経験やそれを通して感じたこと、学んだことを話している。3 月には校区内の小学校で話をする機会をいただいた。言葉だけでなく、行動でも示すことができる教師になりたいと思う。だから教師である以前に、人として成長し続ける姿を生徒たちに見せ続けたい。